

EPAハノイ便り

3月号

平成30年3月7日

ARCベトナム校発行

＊～＊ テト(旧正月)休み ＊～＊

EPA研修が始まって2ヶ月が経った2月半ばに、ベトナムで最も大切な年中行事であるテト(旧正月)を迎えました。今月は新聞部のメンバーが、日本人の先生方にベトナムのテト(旧正月)をどのように過ごしたか、インタビューをしました。

＊～＊＊～＊～＊

★高梨先生★

私(高梨先生)はテトの日にはベトナム人の友だちの家へ行きました。友だちの家はハノイの郊外にありますから、友だちとタクシーで行きました。

ベトナム人はテトの前の日にちゃんと掃除をしなければなりませんから、掃除を手伝いました。その後は、一緒にバインチュン(ベトナム風ちまき)を作りました。葉っぱを洗ったり、米を水に浸したりしました。いろいろな材料を小さく切らなければなりません。私はきのこを切りました。私はベトナム語があまり分かりませんから、バインチュンを作りながら、友だちに翻訳してもらって、友だちの家族と一緒に話しました。でも、バインチュンをきれ



上：バインチュン(ベトナム風ちまき)



右上：高梨先生と14組の新聞部

いな形に包むのは、とても難しかったです。私はまだ上手ではありませんから、米がすぐ下から出てしまいました。でも、友だちのお母さんはとても上手に速くできました。

花火も見に行きました。日本は夏祭りのとき、花火をします。冬の時、あまり花火を見ることがありませんから、新鮮な気持ちでした。

(ポー・ティ・トゥー・サン、グエン・グエン)

★豊田先生★

私(豊田先生)は初めてベトナムでテトをむかえました。旧正月の3日(2月18日)に、仁和先生と一緒に、ベトナム人講師のホア先生のうちへ遊びに行きました。ホア先生の家族と一緒にご飯を食べたり話したり、文廟へ行ったりしました。それから、バインチュン(ベトナム風ちまき)を初めて食べました。とてもおいしかったです。ホア先生の家族はあたたかくて、楽しくて、私の家族にいますから、家族を思い出しました。

ベトナムのテトの文化は面白いです。日本とちよつと



仁和先生、豊田先生、ホア先生

一緒に文廟(ベトナムで一番古い大学、勉強の神様がいます)へ行きました。

ちがいます。ホア先生の両親にお年玉をもらって、びっくりしました。日本では子供だけもらいます。うれしかったです。ベトナム人は家族と友だちを大切にします。テトに集まって遊びますから、とてもにぎやかです。それはいいことだと思います。日本人はいそがしいですから、家族とすごす時間があまりありません。

テトの食べ物たくさんあります。特にひまわりやかぼちやの種を食べます。日本にもありますが、食べ方が違います。日本の種は外の皮も食べられます。ベトナム人は皮をむいて食べます。ホア先生の家で、私だけ食べましたから、大丈夫でした。

ベトナムのテトはおもしろいです。テトを迎えるのは楽しかったので、来年もテトを迎えたいです。

(グエン・ティ・フォン、レー・ティ・フエン)

★高橋先生★

高橋先生は、テト休みに、ベトナムの中部のダナンと



ベトナムのテト（旧正月）飾り

フエとホイアンへ行きました。ダナンに着いたのは2月19日で、テトの最後の日でした。今年、ベトナムのテトは16日から18日までです。

ダナンに着いた時、ダナンはきれいでしたが、テトだったので、いろいろなところをあまり見ることができませんでした。でも、町はテトかざりがあつたり、ホテルの人が今日はテトの最後だと教えてくれました。

ホイアンは古い町で、ダナンから30キロくらい南に



ホイアンの旧市街

屋は古い家やお寺の町並み、夜はちょうちんがとてもきれいです。

あります。ホイアンにはちょうちんがたくさんありますから、本当にきれいです。フエで古いお城へ行きました。フエも静かで、とてもきれいです。

フエのお城

高橋先生はベトナムのテトの料理を食べたことがあります。でも、ベトナムのテトと日本のお正月は違うと思います。食べ物とか花飾りとか違います。花飾りはベトナムのほうが華やかです。

それで、機会があれば、ベトナムのテトに参加したいと思います。どんなご飯を食べて、どんな寺でお祈りするのが、見たい

と思います。

(ブイ・ファン・グエン・グエン、グエン・ティ・アイニング
エット)

候補者も先生も、ベトナムのテト（旧正月）を満喫し、リフレッシュしたようです。また気持ちを新たに、研修に取り組んでいきたいと思っています。

